愛大ESDラボでは、令和6年度も「誰一人取り残さない教育の実現」に向けて、あらゆる角度から専門家とともに学び合う研修会・勉強会を実施していきます。

第1弾は、桐蔭学園理事長で、アクティブラーニング第一人者の溝上慎一先生をお招きし、講演+ワークショップ形式の研修会を行っていただきます。

先生は、文部科学省高等教育局 大学教育のデジタライゼーション・イニシアティブ(スキームD)ステアリング・コミッティ委員(委員長)や文部科学省中央教育審議会臨時委員(初等中等教育分科会)も務められており、幼保~大学まで、初等中等高等教育に幅広く造詣が深い方です。現在、教育界のキーワードになっている「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」「日本社会に根差したウェルビーイング」などについてどのように捉え、実践していけばよいのかについて、現行学習指導要領に照らし合わせながら、実例も含め、お話していただきます。

桐蔭学園という実際の現場のトップとして、日々実践を積み上げている場にいる研究者が語る、リアルな学びのあり方について、学び合う時間としたいと思います。

関心のある方は、ぜひご参加ください!

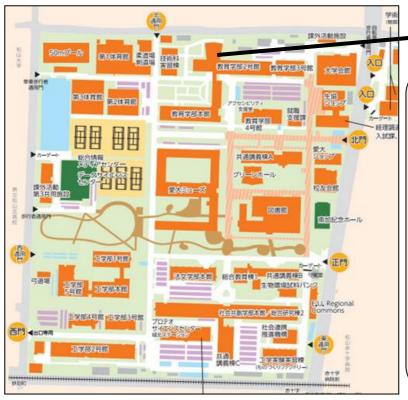
## 講師紹介【溝上慎一氏】

学校法人桐蔭学園 理事長‧桐蔭横浜大学 教授

1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、2000年講師、2003年京都大学准教授、2014年教授を経て、2019年学校法人桐蔭学園理事長。桐蔭横浜大学学長(2020-2021)。京都大学博士(教育学)

日本青年心理学会理事、大学教育学会理事、文部科学省高等教育局スキームD(座長)、文部科学省総合教育政策局・日本学術振興会リカレント教育推進事業委員会(委員長)、文部科学省初等中等教育分科会教育課程部会臨時委員、河合塾教育研究開発本部研究顧問、電通育英会大学生調査アドバイザー、日本学術会議連携会員、日本青年心理学会学会賞受賞(2013年)、日本教育情報学会論文賞(2023年)受賞

専門は、青年・発達心理学・教育実践研究(自己・アイデンティティ形成、学びと成長、アクティブラーニング、学校から仕事・社会へのトランジション、人生100年時代のキャリア形成など)。著書に『アクティブラーニングと教授学習パラダイムの転換』(2014東信堂、単著)、『学習とパーソナリティー「あの子はおとなしいけど成績はいいんですよね!」をどう見るかー』(2018東信堂、単著)、『社会に生きる個性ー自己と他者・拡張的パーソナリティ・エージェンシーーー』(2020東信堂、単著)、『高校生の学びと成長に向けた「大学選び」ー偏差値もうまく利用するー』(2021東信堂、単著)、『インサイドアウト思考ー創造的思考から個性的な学習・ライフの構築へ―』(2023東信堂、単著)、『高校・大学・社会 学びと成長のリアルー「学校と社会をつなぐ調査」10年の軌跡ー』(2023 東信堂、単著)、『著福と訳すな!ウェルビーイング論ー自身のライフ構築を目指してー』(2023東信堂、単著)など多数。



研修会会場(愛媛大学教育学部 大講義室) (伊予鉄道市内環状線・赤十字病院前駅下車 徒歩5分、愛媛大学正門から入り北西)

【確認・留意事項(必ず確認してください)】 ① キャンパス内は全面禁煙です。また、キャンパ ス内に内に駐車場はありません。公共交通機関を利 用するか近隣の駐車場をご利用ください。なお、開 催日当日は愛媛大学キャンパス内で複数の学会の大 会や研修会が実施される予定です。近隣の駐車場を 含め、混雑が予想されますので、時間に余裕をもっ てお越しください。

② 自主研修ですので、カジュアルな服装で参加していただいて構いません。

- ③ 先着順の申し込みにしていますので、どうしても参加ができなくなった場合は、分かった時点で辞退の連絡をしてください。次点の方に参加していただきます。ご協力をよるしくお願いします。
- ④ 事務局において研修会の様子を撮影します。 撮影した画像は個人が特定されない範囲で、HP・ 報告書等に活用します。予めご了場々ださい。
- ⑤ 当日は、基本的な感染対策にご協力ください。 また、スタッフの指示に従ってください。
- ⑥ イベント中に起こった事故、トラブルなどに関しては、主催者・講師ともに一切の責任を負いません。ご了承いただける方のみご参加ください。